

大阪築港第一號繫船岸及住友倉庫陸上設備圖

断面圖

日建設計

創業：1900年6月1日

住友本店臨時建築部

設立：1950年7月1日

日建設計工務株式会社として独立

改称：1970年7月1日

株式会社日建設計と改称

従業員数（2023年4月1日現在）

日建設計：2,291名

日建グループ全体：3,041名



継承するサイクル

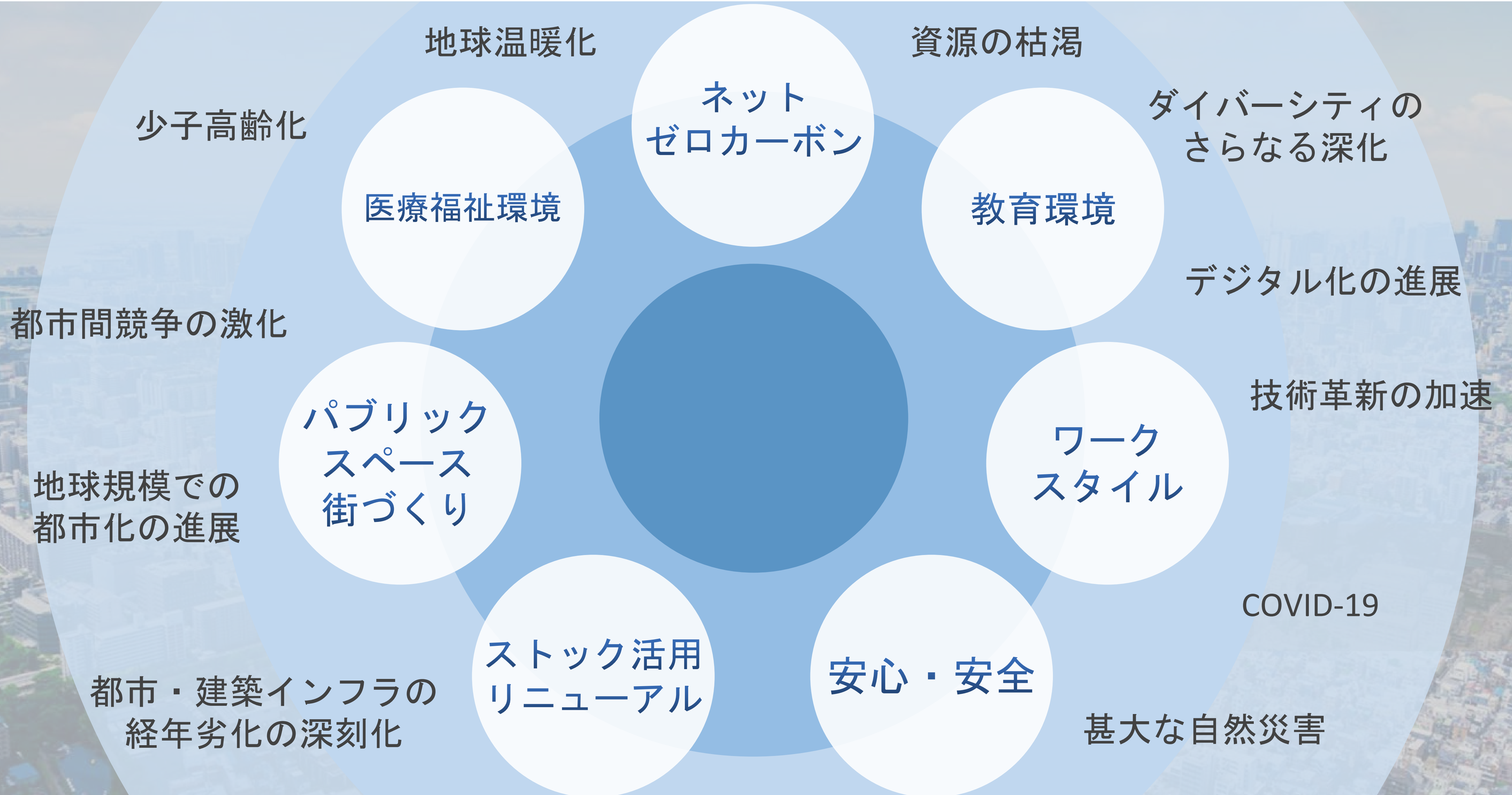


正面圖

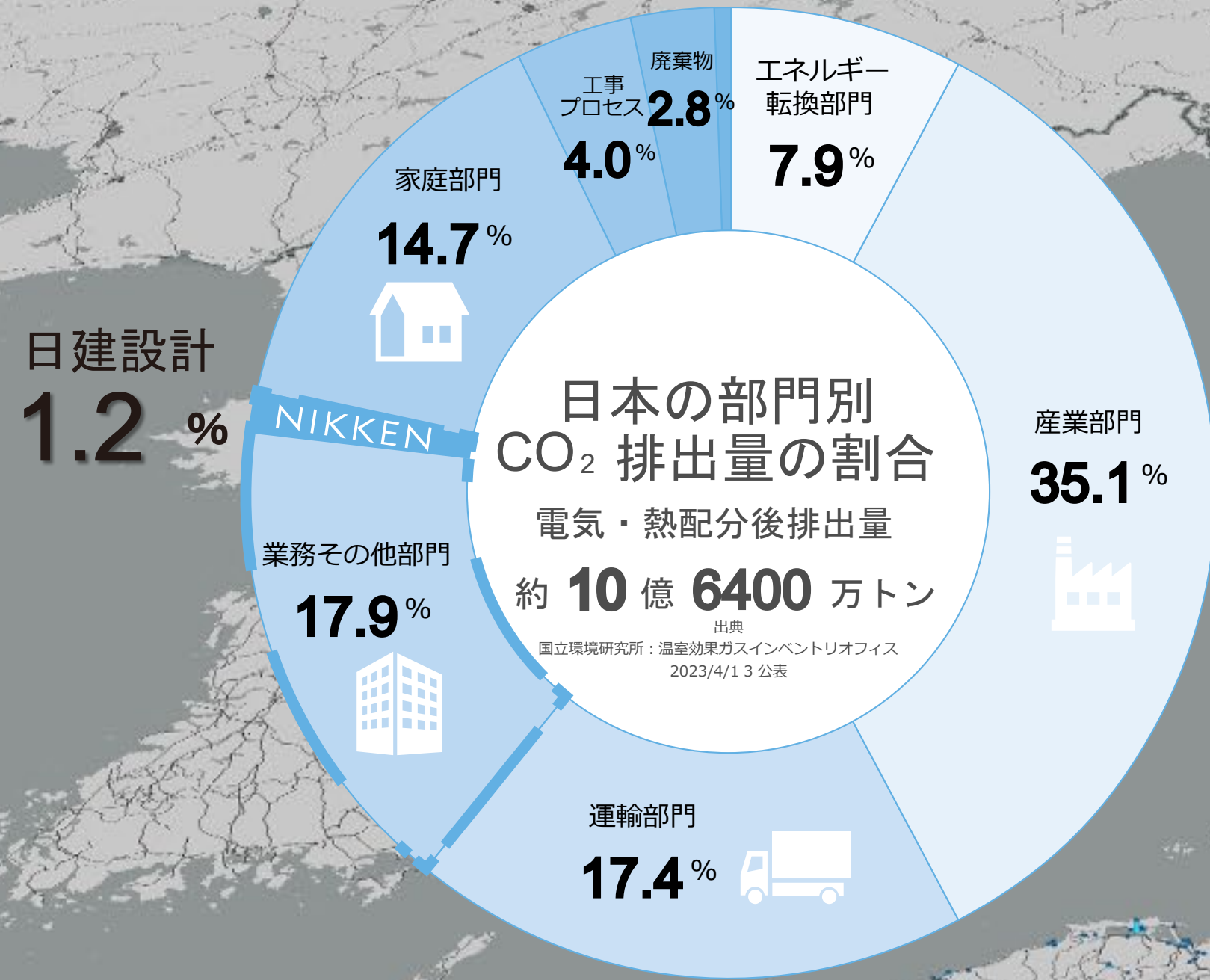
倉 友 住

陸上設備	一倉庫 九棟	一棧橋全長 二百四十間
		一棧橋有効長 二百三十間
		棧橋水深 三千三百呎
		棧橋出幅 二千九百八十八呎七寸
		棧橋埋止幅 百十五間
		棧橋埋止幅 十二間七寸
		棧橋幅 十二間七寸
		棧橋面積 二千九百八十八呎七寸
		棧橋埋止面積 七百九呎八寸
		棧橋面積 二千二百七十八呎九寸
		十二呎五寸

激変する社会と複雑化する社会課題



最大の課題は脱炭素



- 2023年4月国立環境研究所公表データ。
- 過去60年の設計プロジェクトの床面積と用途別原単位から算出した略算結果。

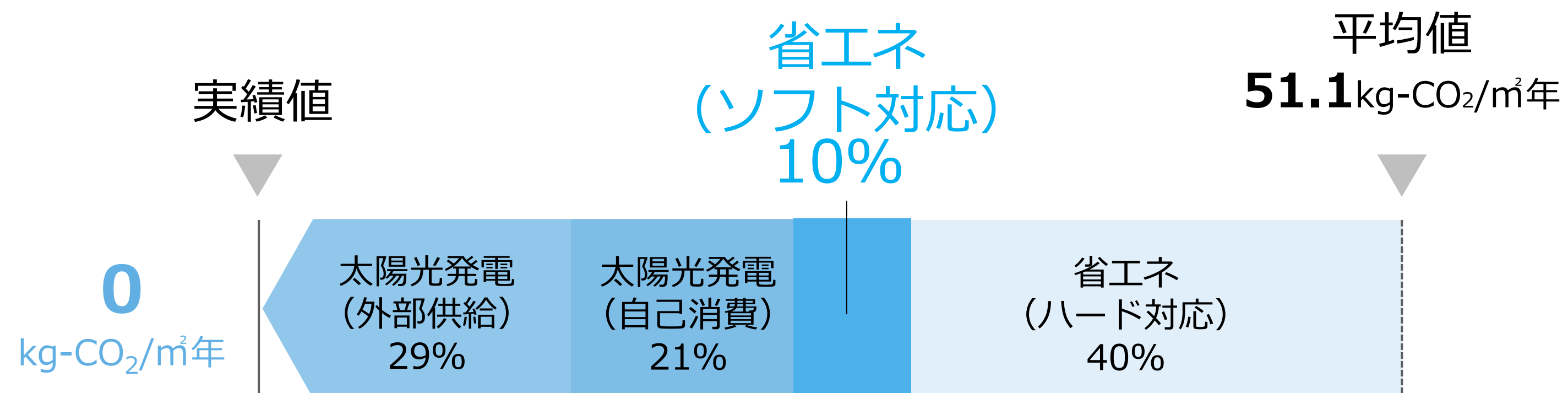
脱炭素の取り組み：瑞浪市立瑞浪北中学校



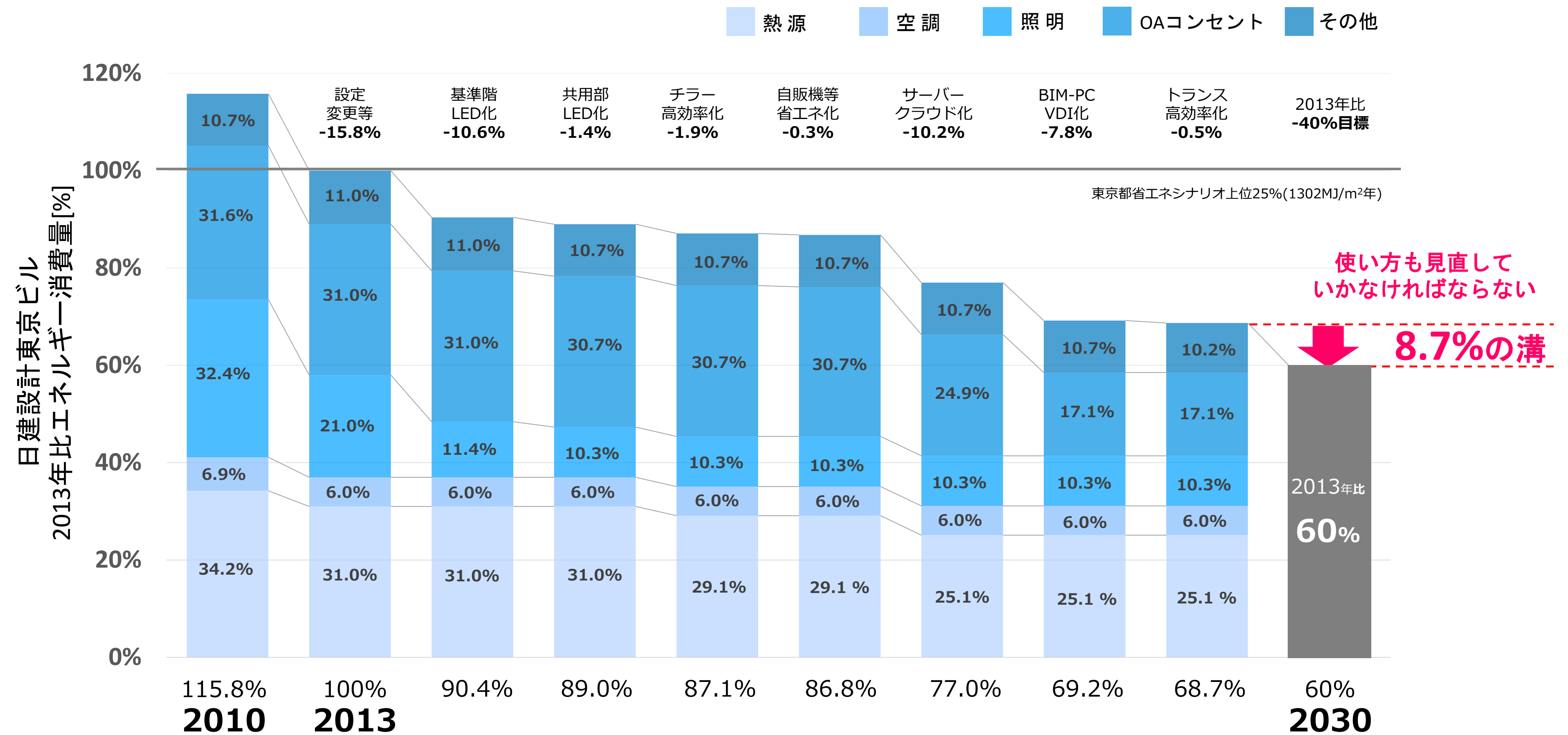
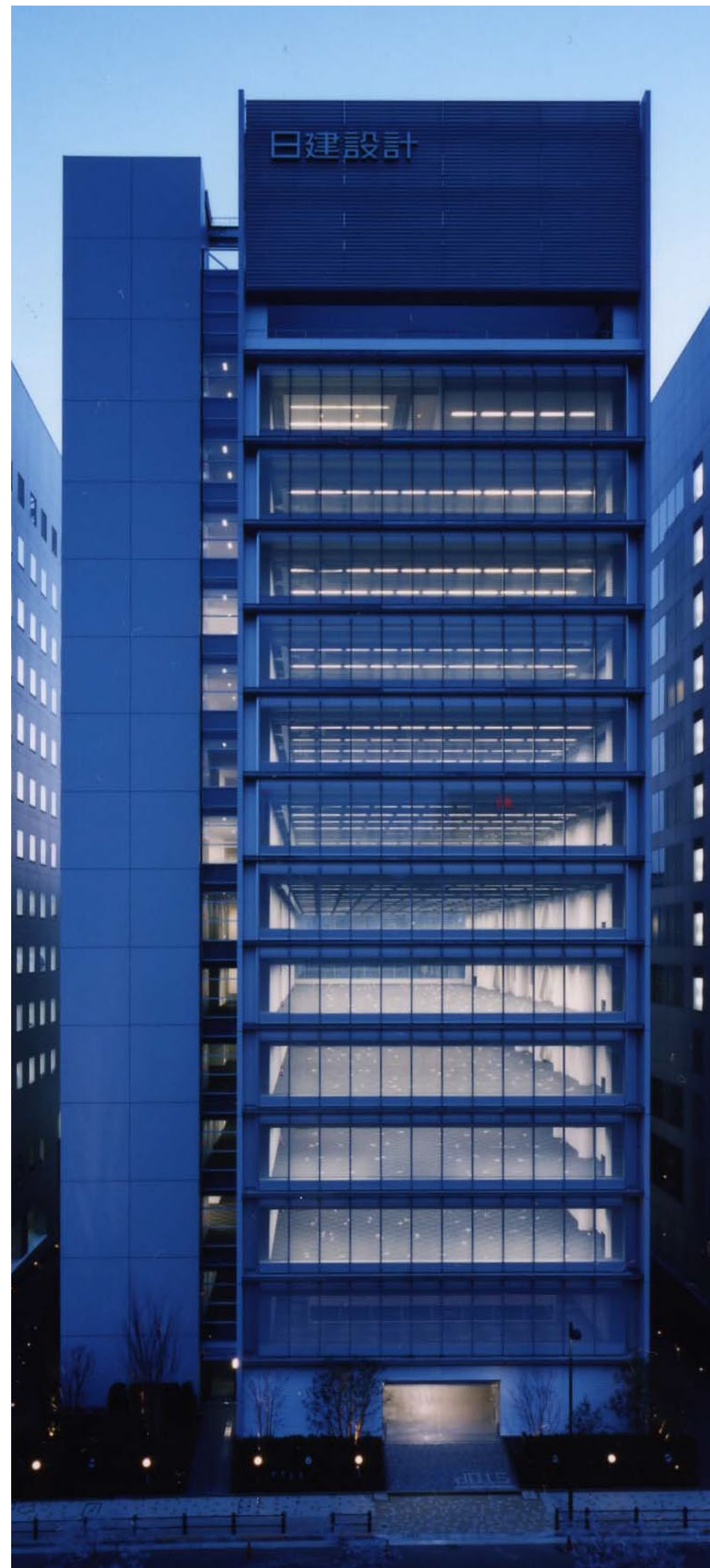
撮影：車田 保



撮影：車田 保



脱炭素の取り組み：日建設計東京ビル

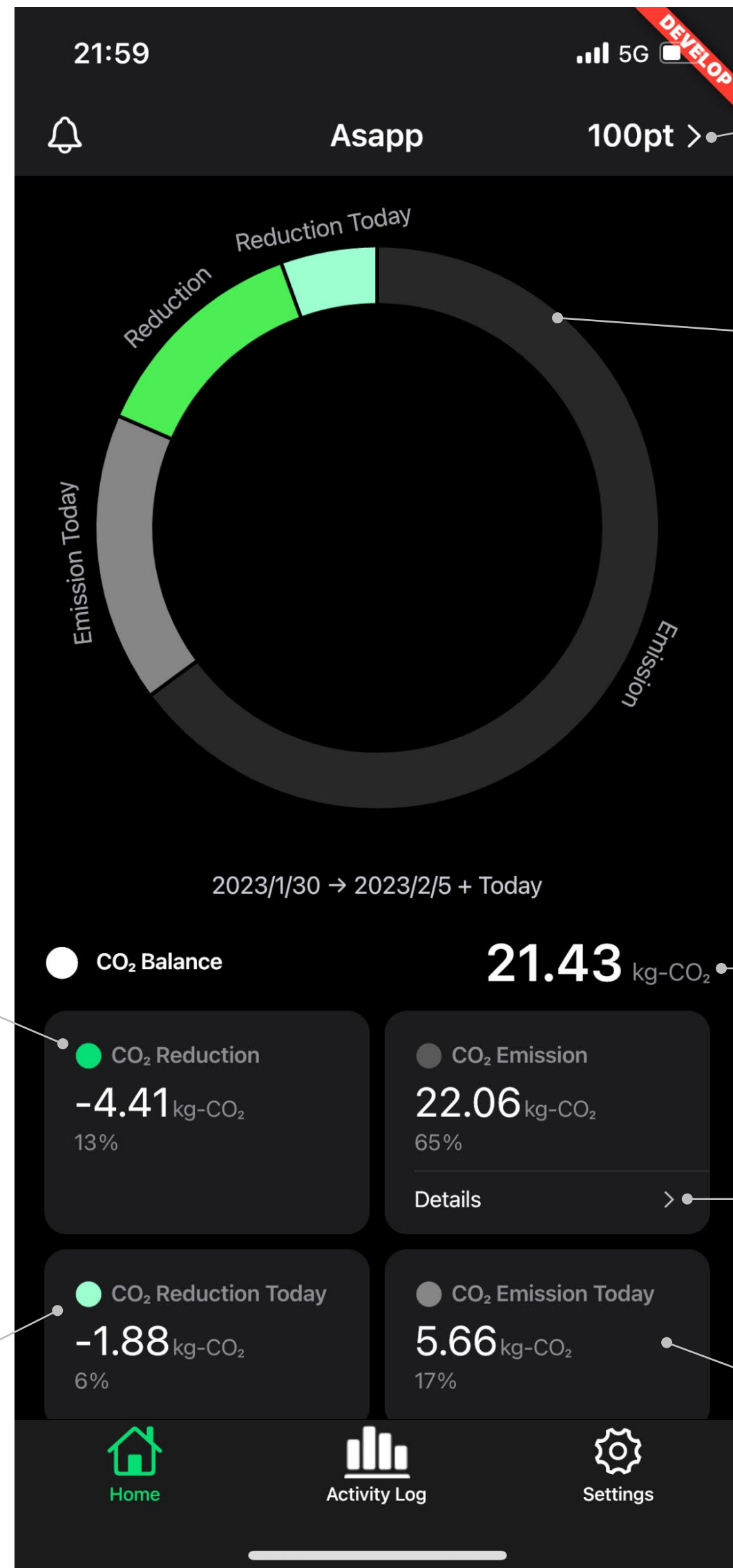


BEI値

2003 (竣工時) **0.76** → 2022 (現在) **0.68** → (将来) **0.55**

※熱源改修等により

脱炭素の取り組み：CO₂排出量をもとに個人の行動を変えるアプリ



取得ポイント

1週間の
CO₂排出量と削減量

1週間のCO₂排出量

滞在場所や移動
方法の選択

当日のCO₂排出量

1週間の
CO₂削減量

当日の
CO₂削減量



期間の切替

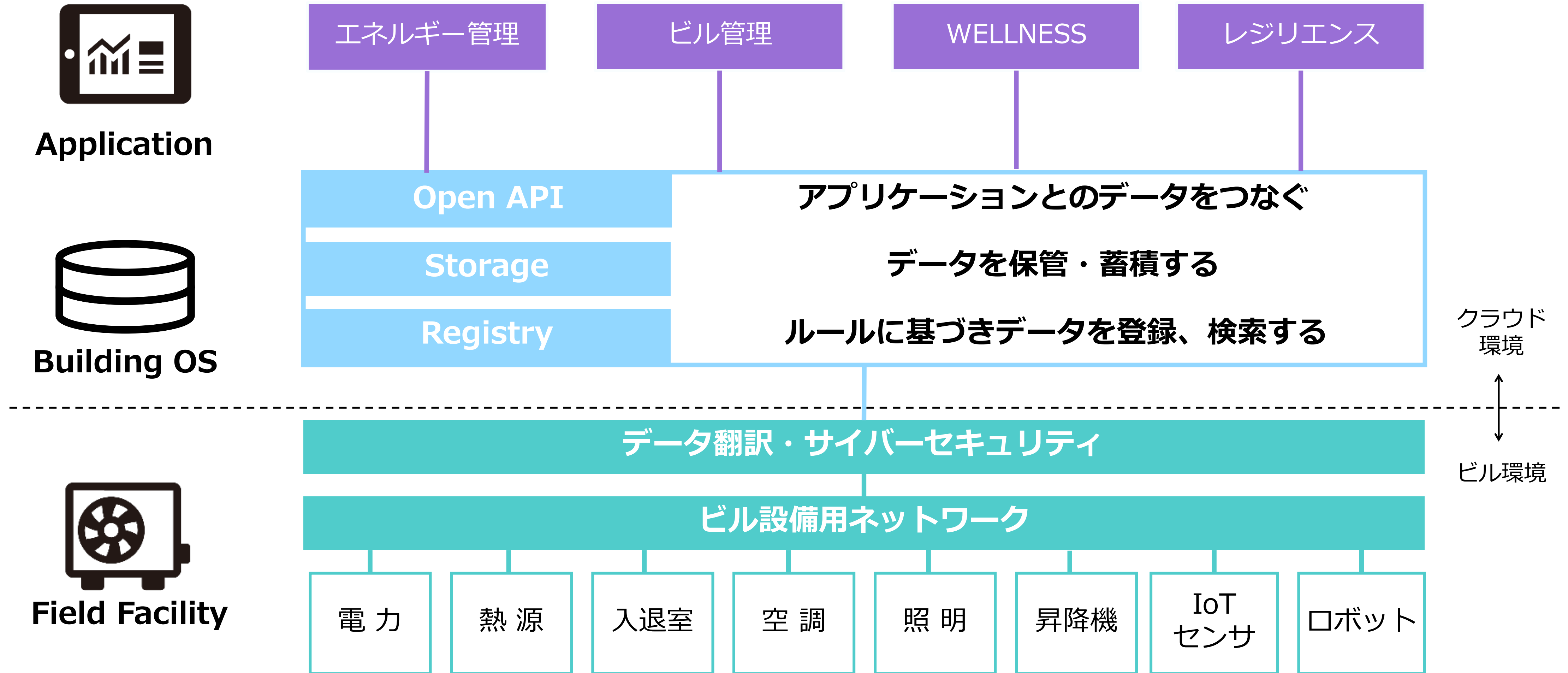
滞在場所のCO₂排出量

移動方法のCO₂排出量

Accumulation

CO₂ Reduction

全体最適を実現するスマートビル



デジタルと建築の両方に精通する専門チーム

建築・設備の知見

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

建築主
ニーズ

建築・都市
デザイン

設備
システム

デジタルの知見

SoftBank

ICT
ネットワーク

アプリ
ケーション

AI

建築とデジタルで
社会課題を解決



建築・デジタル人材の育成・定着がスマートビル普及を加速

人・建物・都市の結節点を担いスマートビルの普及を加速する

